

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月28日

事業所名 きらめき大湾東

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2	0	必要に応じ別室にて過ごせるスペースを準備しています。	定員は適正人数である。十分に広い室内空間で過ごしています。
	2	職員の配置数は適切である	2	5	0	配置は適切ですが急な休みを補う体制は整えています。	活発に動く児童に職員が付く傾向がありますが、すべての児童が満足出来るよう努めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0	0	バリアフリーは問題ないです。	スロープや広い出入口が整っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3	0	ホワイトボードを上手く活用しています。	事務室ホワイトボードや口頭での周知。事業所会議での周知を図る
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	3	0	意見シートをわかりやすい場所に設置しています。	意見箱を設置し、保護者からの意見を伺い、迅速に対応を心掛ける
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	0	毎年公開しております。	改善を行い4月中にHPIにて公開予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3	1	違う部署の職員に評価をして貰っている。	第三者は設置していない。保護者からのご意見を参考に改善を図ります
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	0	各研修への参加、研修動画を見ている。	事業所会議にて社内研修動画を視聴しております。今後もティーチャーズトレーニングや強度行動障害支援者研修などを積極的に受講していく。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	更新時に再アセスメントを行い計画書に反映しています。	モニタリングへ参加し情報共有、連携を行い計画書を作成する。また、更新時以外にも適宜ケア会議でモニタリングを実施していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	0	決められたアセスメントシートで毎年確認している。	使用はしているが、職員間での情報共有に不足があるため、支援会議を通して活用を図る。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	0	個々のニーズに合わせて考えています。	活動を実施して改善点があれば次回に活かしていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	0	利用児にリクエストを聞いたり、職員の提案を出し合って決めている。	児童が飽きないように活動に変化を持たせていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2	0	地域イベントを確認。個々の課題を個別活動に取り入れている。	リーダーが他スタッフと相談しながら決定する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	毎月活動プログラムの見直しを行っている。	計画書に基づいたプログラムを個別活動に取り入れています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	児童お迎え前に申し送りを行っている。	申し送りや活動内容を当日のリーダーが中心となり担当しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	0	申し送りホワイトボード活用し周知しています	当日に周知が必要と思われる内容に関しては随時申し送りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	0	当日のリーダーにより、児童記録日報を作成している。	日報記録内容を通して支援計画書作成の題材にしていく。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	モニタリング記録をとりスタッフ全員で確認できるようにしている。	スタッフ全員が参加し意見をまとめられやすいようにしている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	3	1	ガイドラインの基本的活動に合わせたプログラムを実践している。	ニーズに応じた活動を行い、改善を行いより良い支援を行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0	児発管研修を受講した者が参加している。	管理者が参加していますが、他スタッフも幅広い意見を聞くために参加を検討していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1	0	学校HP確認や児童迎えの際情報共有しています。	今後も確認事は丁寧に行っていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3	1	当事業所では医療的ケア児の受け入れをしております。	医療的ケアの必要な児童は利用していないが、必要があれば検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3	0	児童発達支援事業所と情報共有している。	児童発達支援事業所以外に相談員や保護者からも就学前の聞き取りを行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1	0	今年度該当児童は、いませんが情報提供は準備することが出来る。	必要に応じて相談員等に支援記録やアセスメント等の情報提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	2	委託公認心理師に事業を相談する機会がある。	児童発達支援センター等研修に参加するようにしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	3	地域の公園へ出かけるプログラムを取り入れている。	近くの児童館訪問や児童対象の地域イベントへ参加していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	3	参加している事業所外のスタッフより情報を受けている。	勤務時間の都合上参加出来ないで出来る限り参加できるように人員配置に工夫を行っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0	送迎時や連絡帳、LINE等用いて日々の様子を共有しています。	時間に余裕をもって保護者と共有していきたい。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3	1	ペアレントプログラム研修の機会があれば情報提供しております。	必要に応じて適切な支援が出来るようにしていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2	0	契約時に行っておりますが、その都度必要に応じてご説明いたします。	分からないことが無いようガイドライン等確認しながら説明を行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	1	事業所側からも定期的に困り感などはないですか？と声をかけている。	適切な支援の方向性を知るため、家庭では見せない児童の様子を報告致します。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	0	今年度も親子交流会を計画しています。	保護者交流ができる機会を計画致します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	0	・苦情ボックスを設置している。 ・苦情があった場合は、迅速に対応している。	電話連絡や直接お会いしご対応しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3	1	毎月活動プログラムの配布やHP・ブログの情報提供。	定期的なブログ更新を行います。
	35	個人情報に十分注意している	6	1	0	個人ファイルは鍵付きキャビネットに保管しております。	ブログ掲載は保護者への同意を確認し行っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	五十音表や絵カード等使用しています。	必要に応じた情報伝達方法を検討していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	2	感染症対策や企画面で実施できなかった。	地域と開かれた交流内容について検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3	0	マニュアルは完成済み。	保護者や職員への周知が不十分なため徹底を図ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	災害避難と不審者避難を行っております。	避難場所や時間を計測して、訓練内容を保護者へご報告出きるよう取り組みます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2	0	虐待防止研修に参加。	全スタッフが研修に参加できるよう対応していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	0	ホールとは別室を使用する場合常にスタッフが目の届く状況で対応しております。	現時点において、同意書はすでに作成しているが、該当児童はなし。しかし、やむおえず、該当児童が発生した場合、保護者に3つの要件を説明し理解を図る。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	0	契約時に保護者へ確認、職員間共有しております。	モニタリング等で新たに確認していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	0	事業所会議で共有し対策を協議しております。	日々の申し送りで情報共有、対策を確認していく。